

2024年5月18日 ver.

# 遠藤彰子展

巨大画の迷宮にさまよう

2024年6月22日(土)ー8月25日(日)



①《鐘》2007-2008年、333.3×745.5cm、個人蔵

## ◆開催趣旨

画家・遠藤彰子(えんどう・あきこ 1947-)は、自身を取り巻く身近な事象をテーマにしながらも、その壮大な世界観で、観る者に圧倒的な印象を残してきました。「人間の存在」及び「今生きている実感」を追求した油彩画は、縦 3.3m×横 7.5mにも達する巨大画へと発展し、われわれを果てしない迷宮の世界へと引き込みます。本展では約 80 点の作品を通して、その半世紀にわたる画業を振り返ります。

## ◆みどころ

### ①新潟県で初開催！

武蔵野美術大学油絵学科名誉教授でもある遠藤彰子による個展は、新潟県内では初開催となります。さらに、当館収蔵の《たそがれの街》を特別出品します。この貴重な機会をお見逃しなく。

### ②半世紀にわたる画業を一挙公開！

画家としてデビューした 1970 年代に描かれた「楽園シリーズ」をはじめ、飛躍のきっかけとなった「街シリーズ」、そして 1989 年から現在まで続く 500 号を超える「大作シリーズ」を中心に、立体や新聞連載小説の挿絵といった広範な活動の軌跡を一堂に展覧します。

## ◆遠藤彰子 略歴

- 1947年 東京都に生まれる
- 1969年 武蔵野美術短期大学卒業
- 1986年 安井賞展安井賞受賞
- 1986年 文化庁芸術家在外派遣研修
- 2007年 平成十八年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞
- 2014年 紫綬褒章受章
- 2023年 毎日芸術賞受賞



## ◆展覧会構成

### ●楽園シリーズ

1969年、遠藤は結婚を機に東京から相模原へ引っ越します。当時、相模原には森や田園が広がっていて、構えた自宅兼アトリエ近くにある林へ入ると、野ウサギや野鳥が多く見られたといいます。この環境に身を置いていたことの嬉しさが創作の源泉となり、「人間と楽園」というイメージを描き始めました。また、楽園シリーズで描かれている象やライオン、サーカスといったモチーフは、1972年に訪れたインド旅行での体験をもとにしています。この旅行で「生」と「死」の根源を垣間見たことをきっかけに、内在的なテーマとして以後の作品にもみられます。本シリーズでは、遠藤が「絵を描くこと自体が楽しい幸せな時期でした」と回顧する初期作品を辿ります。

### ●街シリーズ

1970年代後半から始まる「街シリーズ」では、心境の変化が画面に現れます。相反するものの要素が組み合わせられ、恐ろしさと楽しさが同居する迷路のような街が登場します。きっかけは、生まれて間もない我が子が、死に瀕する急病に直面したことに由来します。遠藤は、「その時、今までの世界観が逆転するような経験をしました。幸せそうに暮らしている日々が、何の前触れもなく一瞬にして、暗転してしまう恐ろしさを思い知らされたからです。」と振り返っています。この「街シリーズ」によって次々と受賞を重ね、画家としての地位を確立していきます。

### ●大作シリーズ

1989年に発表した《みつめる空》を皮切りに、500号(約2.5×3.3メートル)の大作に挑むようになります。これがさらに横に2枚連なった1000号(約3.3×5.0メートル)、3枚連なった1500号(約3.3×7.5メートル)という大画面へと発展していきました。現在も毎年500号以上の大作に挑戦し続けています。「大作シリーズ」では、これまで「生と死」や「光と闇」、「破壊と創造」といった根源的なテーマを壮大な世界観で描いています。うねりのある構図から引き起こされる、その躍動感やエネルギーの前に、まるで絵の中に引き込まれるかのような不思議な感覚に陥ることでしょう。



◆出品作品

楽園シリーズ



② 《楽園の住人たち》 1974年  
130.3×194.0cm、個人蔵

街シリーズ



③ 《たそがれの街》 1982年  
194.0×259.0cm、新潟市美術館蔵

街シリーズ



④ 《死なしむな夢》 1995年  
333.3×218.2cm、個人蔵

街シリーズ



⑤ 《佳日》 2005年  
292.3×130.0cm、個人蔵

大作シリーズ



⑥ 《ことば響くあたり》 2019年 333.3×497.0cm、個人蔵

## ◆基本情報

展覧会名	遠藤彰子展 巨大画の迷宮にさまよう
会期	2024年6月22日(土)ー8月25日(日)【57日間】
休館日	月曜日(ただし7月15日、8月12日は開館)、7月16日(火)
開館時間	9:30-18:00(観覧券販売は閉館30分前まで)
会場	新潟市美術館 企画展示室
観覧料	<u>一般 1200円(1000円)、大学生・高校生 900円(700円)、中学生以下無料</u> *( )内は20名以上の団体、リピーター割引料金
主催	新潟市美術館
共催	BSN新潟放送
協力	株式会社青幻舎プロモーション

## ◆関連イベント

### ●遠藤彰子による開幕記念講演会

日時 6月22日(土)14:00-15:30/ 会場 講堂/ 人数 先着80名

### ●ワークショップ「身の回りのものに絵を描いてみよう」

日時 7月27日(土)13:30-17:30/ 会場 実習室

対象 小学生以上(小学生は保護者の付添が必要)/ 参加費 要当日観覧券/ 人数 20名

\*ワークショップの詳細や申し込み方法については、当館webページをご確認ください。

### ●担当学芸員によるギャラリートーク

日時 7月7日(日)、8月4日(日)/ 各日14:00-(30分程度)

\* 申込み不要、要当日観覧券

## ◆お問い合わせ

新潟市美術館 担当: 児矢野あゆみ、塚野卓郎

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9

Tel 025-223-1622 Fax 025-228-3051

URL: <http://www.ncam.jp> mail: [museum@city.niigata.lg.jp](mailto:museum@city.niigata.lg.jp)

## 遠藤彰子展 巨大画の迷宮にさまよう

### 【取材・チケットプレゼント・記事掲載について】

次の1～2のいずれかをご希望の場合、以下の URL 二次元 コードから WEB フォームでお申込ください。

- 1) 展示作品の図版掲載(プレスリリース掲載画像からお選びください)
- 2) 読者プレゼント用の招待券

#### 【申し込みフォーム】

<https://docs.google.com/forms/d/1YeNXiWg2Fu52m5NIXNgWM7tW-yDJ2g1aOrmzMZLmTbE/edit>

- ◆使用画像と基本情報の確認のため、掲載前の原稿や映像は、担当者まで必ずお送りください。
- ◆チケットプレゼントの提供は、本展をご紹介いただける場合のみとし、1媒体につき 10組 20名様を上限として提供します。
- ◆読者プレゼントの宛先は貴社とし、抽選、当選者への発送は貴社にてご手配ください。当館から当選者への発送はいたしません。
- ◆掲載媒体は、必ず当館まで1部ご送付ください。
- ◆WEB 掲載の場合は、コピーガードの処理をかけてください。